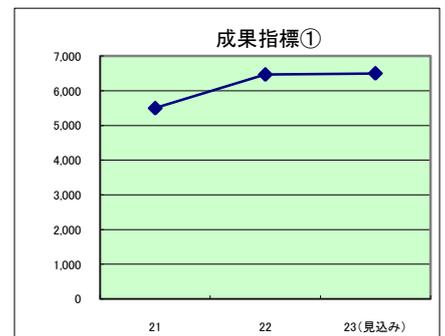
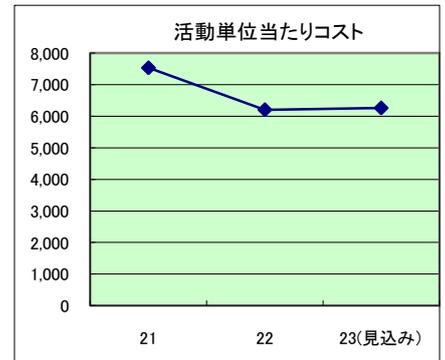


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 市市02

事務事業名		戸籍事務		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画		5	信頼に基づく市民とともにつくるまち		款	2	総務費		
まちづくりの目標(章)	3				行財政運営	項	3	戸籍住民基本台帳費	
施策(節)						目	1	戸籍住民基本台帳費	
施策の方向				事業	1	戸籍事務			
関連する計画等				作成部署	市民人権部市民課				
対象(誰を・何を)				連絡先	072-958-1111		内線 1660		
事業の目的				羽曳野市内に本籍を有する者及び有していた者の戸籍					
意図(どういう状態にしたいのか)				羽曳野市に戸籍を有する若しくは有していた者の親族的な身分関係を登録・公証する。					
事業の内容				①戸籍に関する届出の受理・審査 ②届出等に基づく戸籍の記載 ③戸籍全部事項証明書(謄本)等、戸籍法に基づく証明書の交付 ④その他戸籍に関すること					
根拠法令等				民法・戸籍法・家事審判法他					
事業開始時期				<input type="checkbox"/> 昭和 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度	
事業開始時からの状況変化				家制度の廃止、多様な家庭事情を背景として戸籍の届出内容が複雑化、近年の国際化により涉外戸籍が増加					
市民や議会の要望									
実施手法				<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()					
委託先				<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容			戸籍保管庫保守委託・戸籍記載システム保守委託

区分		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		2,440	2,477	3,046
人件費【2】 (千円)		39,015	37,650	37,650
職員数	正規職員	4.55 人	4.55 人	4.55 人
	再任用職員	0.50 人	0.50 人	0.50 人
	嘱託職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	臨時職員	2.00 人	2.00 人	2.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	1227.35 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		41,455	40,127	40,696
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)	96	64	135
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)	9,592	10,346	10,670
	一般財源 (千円)	31,767	29,717	29,891
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 戸籍受付件数	件	5,502	6,467	6,500
② 本籍人口	人	87,628	89,882	90,000
③ 本籍数	件	34,054	35,110	36,000
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		7,535 円	6,205 円	6,261 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		349 円	340 円	345 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
				見込	実績	見込	実績	達成率(%)
①	戸籍事務取扱数 (式)	件	適正に処理された戸籍受付件数	5,600	5,502	5,500	6,467	117.6%
②	戸籍関連証明書発行件数 (式)	件	適正に処理した証明書発行件数	20,500	21,925	21,900	21,906	100.0%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○		○							有	地方自治法第2条9項で定義されている「法定受託事務」である。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本国民であること（日本国籍を有すること）並びに人の身分関係及び親族的な関係を登録、公証する唯一の手段として妥当性は極めて高い。
	市民ニーズと比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	戸籍情報システム導入により戸籍届出書の受付から受理、戸籍への記録・記載、証明書の発行に至るまで正確性を保持しながら簡略化された。 きわめて高い正確性が要求される事業であるため、今後も正確に効率の良い戸籍事務を行う必要がある。 また、窓口業務の効率化を図る観点から、民営化も視野に入れつつ検討する必要がある。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策（目的）が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身分関係を公証する事業で有効性は高い。戸籍全部事項証明書（謄本）等、戸籍法に基づく証明書の交付について、コンビニ交付等を実施することで、更なる成果及び利便性の向上を目指す必要があるものと思われる。
	上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	法令上の義務であり、成果指標の向上を目指す業務ではないが、適正に処理されている。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	
	<p>平成23年3月より戸籍情報システムの完全稼働により戸籍等の正確性が一段と向上し、戸籍全部事項証明書等の戸籍法に基づく証明書の迅速な発行が可能になったため、窓口での証明書の発行に係る時間が大幅に短縮され、格段の進歩をなしたところではあるものの、更なる事務の効率化や窓口の混雑緩和、市民の利便性の向上等を図る必要がある。</p> <p>今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）</p> <p>更なる窓口の混雑緩和解消のため、コンビニ交付等窓口以外での戸籍全部事項証明書等、戸籍法に基づく証明書の発行を検討する必要がある。また、窓口業務の効率化を図る観点から、民営化も視野に入れつつ検討する必要がある。</p>	

行 革 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	